

ブラジル（複数レベル混在型クラス）のトランスランゲージングペダゴジー 横溝みえ（マイリポラン同志会日本語学校）

ブラジルでは、日本移民開始当時から、日本人子弟へ継承語教育を行ってきた。現在は、多様な気候、様々な歴史、各土地で発展した、ありとあらゆる形態の日本語教育がある。特徴として、公教育外の学校（主に、日本人会運営学校）や子どもの学習者が多いことが挙げられる。また、ポップカルチャーブームにより非日系の学習者が増加している。日本語学校を取り巻く人々の属性は様々で、日本語を継承語、または外国語として学ぶ学習者が、同じクラスに混在することがある。

本発表は、日本人会運営日本語学校の複数レベル混在型クラス実践報告である。このクラスは、年齢、日本語能力、目的等が違う5名の学習者がおり、内訳は、12歳2名、18歳1名、20代1名、50代1名で、日本語レベルは、ほぼゼロ～B2程度。毎週土曜日、2時間の対面授業で、教材は主に自作教材を使用。当校の教育目標に、「日本人会の活性化」や「地域とつながること」がある。また、「全人教育」を目指し、日本語能力のみならず、他の能力も伸ばすこと、自己肯定感を高めること、また、皆の居場所であることも大事な役割と考えている。そのため、活動は、日本人会の行事（運動会、食事会等）の運営手伝い、季節の行事（節分、七夕等）や伝統文化（書道、茶道等）を体験しながら、協働的に学ぶスタイルをとっている。

このクラスで、日本語のみで活動を行うと、教師を含め、日本語力の高い人が活躍し、全員が持っている力を十分に発揮できない。また、言語を制限することは、意味のある活動ができず、教育目標に反する。「トランスランゲージング」の「マルチリンガルがもつ全ての言語資源を、言語の区分を超越してひとつのつながったレパートリーとしてとらえた概念であること（加納, 2016）」や、「コミュニティへの参画（Garcia, 2009）」など、ひとりの人間を総体的に見、ポテンシャルを活かす考え方がぴったりだが、実際の授業で、どんな教授観で、どのように計画し、実行すればいいのだろう。

2024年8月「平和学習」（3回の同期+非同期3週間）の概要。

- ① 非同期—SNSグループで「平和」動画（日本語、ポルトガル語）を観る。
- ② 同期2時間—「平和」「戦争」について、知っていること、動画の感想を話す。（ポルトガル語）→自分のできることは？思ったことを形（作文、絵等）にし、発表。
- ③ 非同期—「広島・長崎の原子爆弾」読み物動画（日本語）。
- ④ 同期3時間—③を読む。ポルトガル語に訳し、両言語で動画撮影、SNSに掲載。
- ⑤ 非同期—②の作品について意見交換。（意見なし）
- ⑥ 同期3時間—②の作品について、意見交換。「平和」って？身近なことを話す。（ポルトガル語、日本語）。ビジター（日本語母語話者）があり、③の読み物を、互いの学習言語で読み、録画。（顔が写りすぎ、SNS掲載なし）お茶を飲んで雑談。

良かった点は、①母語で話し合ったので、理解や思考が深まったようだ。②戦争は遠い話ではない。自分につながっている、私にできることはある。という発言があった。③SNSに載せるためか、真剣に取り組んでいた。

また、難しかった点は、①日本語力を伸ばすこと。②広い視野で考えられるような計画③保護者にトランスランゲージングスペース作りに参加/協力/理解してもらうこと。（できていない。）

今後も、ただ単に得意な言語で理解することのみを推奨するのではなく、様々なアプローチで、日本語も他のことも、楽しく学べ、それぞれの力を伸ばす教育ができるよう、工夫を凝らす必要がある。

参考文献

- 加納なおみ (2016) 『トランス・ランゲージングを考える—多言語使用の実態に根ざした教授法の確立のために—』 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究. 2016, 12, p. 1-22. <https://hdl.handle.net/11094/62212>
- 湯川, 笑子; 加納, なおみ (2021) 『「トランス・ランゲージング」再考: その理念、批判、教育実践』 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究. 2021, 17, p. 52-74. <https://hdl.handle.net/11094/88286>
- Canagarajah, S. (2011). *Translanguaging in the Classroom: Emerging Issues for Research and Pedagogy*. *Applied Linguistics Review* 2 (2011):1-28. 10.1515/9783110239331.1
- Garcia, O. (2009). *Education, multilingualism and translanguaging in the 21st century*. In T. Skutnabb-Kangas, R. Philipson, A. K. Mohanty, & M. Panda (Eds.), *Social justice through multilingual education*: p. 140-158. Bristol, UK: Multilingual Matters.
- Garcia, O; Johnson S.I; Selter, K. (2017). *The Translanguaging Classroom: Leveraging Student Bilingualism for Learning*. Philadelphia: Caslon.
- Li, W. (2017). *Translanguaging as a Practical Theory of Language*. *Applied Linguistics* 2018: 39/1: p.9–30. <https://doi.org/10.1093/applin/amx044>